

令和4年 広島県鉱工業生産・出荷・在庫指数（速報）

広島県の鉱工業生産・出荷・在庫指数(平成27年平均=100)について、令和4年の動きを速報として取りまとめた。

1 概況

～ 生産・出荷・在庫とも2年連続の上昇～

- 令和4年の鉱工業指数は、生産(97.6)、出荷(96.8)、在庫(93.5)ともに前年に比べ上昇した。
〔前年比：生産5.1%上昇、出荷4.6%上昇、在庫8.2%上昇〕
- 四半期(季節調整済指数)で見ると、生産・出荷ともにⅠ期とⅢ期は前期を上回ったが、Ⅱ期とⅣ期は前期を下回った。在庫はⅡ期とⅣ期は前期を上回ったが、Ⅰ期とⅢ期は前期を下回った。
《生産》Ⅰ期…97.0、Ⅱ期…91.9、Ⅲ期…102.2、Ⅳ期…99.7
《出荷》Ⅰ期…96.9、Ⅱ期…90.8、Ⅲ期…100.8、Ⅳ期…99.1
《在庫》Ⅰ期…81.1、Ⅱ期…100.8、Ⅲ期…95.0、Ⅳ期…104.7

(1) 生産

- ・生産指数は97.6、前年比5.1%上昇(2年連続)。
- ・業種別にみると、前年比では、電子部品・デバイス工業、一般機械工業(総合)、輸送機械工業など10業種で上昇、鉄鋼業、化学工業、プラスチック製品工業など8業種で低下。

(2) 出荷

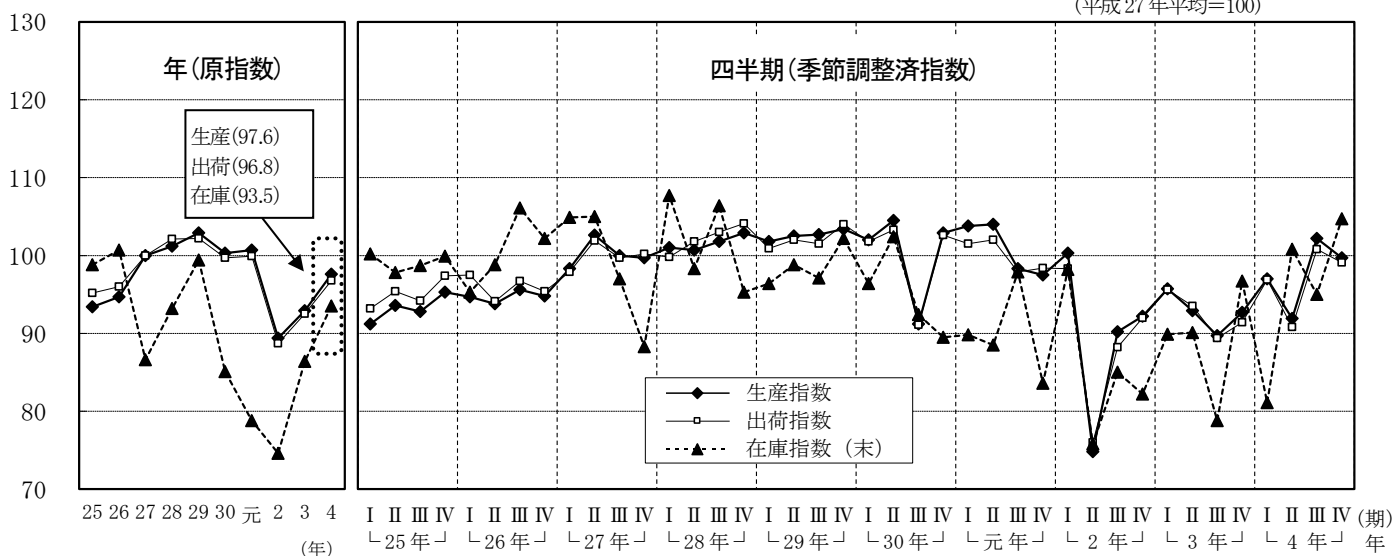
- ・出荷指数は96.8、前年比4.6%上昇(2年連続)。
- ・業種別にみると、前年比では、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、一般機械工業(総合)など9業種で上昇、鉄鋼業、化学工業、非鉄金属工業など9業種で低下。

(3) 在庫

- ・在庫指数は93.5、前年比8.2%上昇(2年連続)。
- ・業種別にみると、前年比では、輸送機械工業、一般機械工業(総合)、繊維工業など10業種で上昇、鉱業は横ばい、鉄鋼業、化学工業、食料品・たばこ工業など6業種で低下。

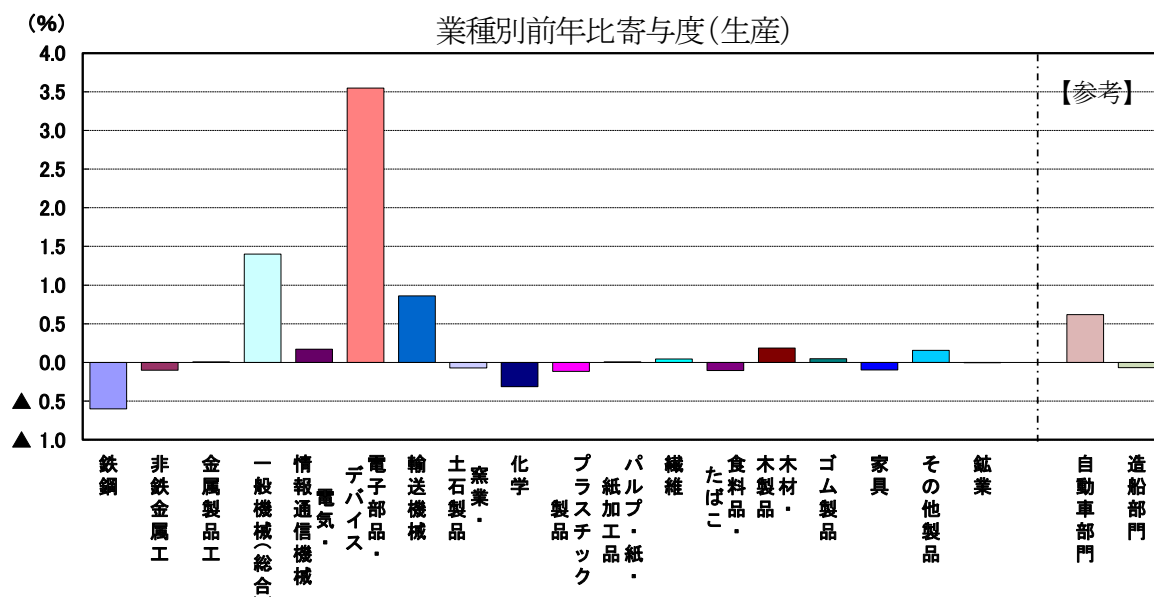
鉱工業指数の推移

(平成27年平均=100)



2 生産の業種別動向（寄与度順）（上昇10業種，低下8業種）

上昇した主な業種	前年比	上昇した主な品目
電子部品・デバイス工業	21.5%	大規模集積回路
一般機械工業（総合）	7.5%	圧縮機，シヨベル系掘削機械，半導体製造装置
輸送機械工業	3.1%	普通自動車，航空機部品，鋼船新造
低下した主な業種	前年比	低下した主な品目
鉄鋼業	▲10.2%	鋼半製品，鋼帯，特殊鋼熱間圧延鋼材
化学工業	▲9.2%	アクリロニトリル，マクリル酸エステル(モノマー)，酸化第二鉄
プラスチック製品工業	▲2.0%	日用品・雑貨，フィルム_硬質製品，光学フィルム



3 主要業種の生産動向（左側が令和3年分，右側が令和4年分）

(1) 鉄鋼業（生産指数 91.2 → 81.9）

- ・生産指数は，前年比 ▲10.2%低下（2年ぶり）。
- ・低下した主な品目は，鋼半製品，鋼帯，特殊鋼熱間圧延鋼材。

(2) 一般機械工業（総合）（生産指数 108.4 → 116.5）

- ・生産指数は，前年比 7.5%上昇（2年連続）。
- ・上昇した主な品目は，圧縮機，シヨベル系掘削機械，半導体製造装置。

(3) 電気機械工業（総合）（生産指数 128.2 → 153.4）

- ・生産指数は，前年比 19.7%上昇（4年連続）。
- ・上昇した主な品目は，大規模集積回路（電デバ），低圧遮断器（電気・情報），電気計器（電気・情報）。

(4) 自動車部門（生産指数 82.1 → 84.3）

- ・生産指数は，前年比 2.7%上昇（2年連続）。
- ・上昇した主な品目は，普通自動車，シャシー及び車体部品，プラスチック機械部品_輸送機械用。

(5) 造船部門（生産指数 53.3 → 52.5）

- ・生産指数は，前年比 ▲1.5%低下（3年連続）。
- ・低下した主な品目は，鋼船修理，船用蒸気タービン。

確報については，令和5年10月頃に県ホームページ等で公表予定